

2021年8月1日  
現勢2705名  
1月当初比-15名



ホームページアドレス <https://www.dokenkodahiga.jp/>

発行所  
東京土建一般労働組合  
小平東村山支部  
小平市仲町381番地  
電話 042-342-2846  
FAX 042-342-2848  
発行人 川口 直明



## 平和を訴える宣伝行う —核兵器のない世界を目指し—

7月19日、支部も加盟している小平原水協で、新型コロナウイルスの影響により中止となった平和行進に変えて、小平駅南口にてスタンディング宣言行動を実施しました。

2021年1月に核兵器禁止条約が発効されて以降、初めての取り組みとなり、20名を超える参加で「核兵器のない平和で公正な世界」を訴えました。

緊急事態宣言下での取り組みとなりましたが、1時間弱の宣伝で100枚のチラシを配布することができました。

宣伝後は、西東京地域へ平和行進のリレー旗をつなぎました。

日本政府は、現在も核兵器禁止条約に署名・批准をしていません。小平原水協は、日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准し、唯一の戦争被爆国としての役割を果たさせること、核兵器のない平和な世界を目指して、今後も活動を続けていきます。

「アスベスト規制強化」についての意見を交わしました。渡部市長からは「アスベスト規制強化」についての意見を示されました。渡部市長から「アスベスト規制強化」についての意見を交わしました。

非常に悩んでおり、国土交通省からも調査指示を受け、市としてアスベスト規制強化についての意見を交わしました。渡部市長からは「アスベスト規制強化」についての意見を示されました。渡部市長から「アスベスト規制強化」についての意見を示されました。

上委員長からも組合員（建設業）のコロナ禍の現状についても報告し、懇談が終了しました。引き続き、市長へ私の要求を伝え意見交換を進めています。



# 東村山市長と懇談

～制度拡充要請と石綿規制の意見交換～



左から白石副理事長、金澤理事、渡部市長、須賀事務局長、井上委員長

7月21日に東村山住宅サービス協力会から、白石副理事長、金澤理事、須賀事務局長が参加、東京土建から井上委員長、奥田書記次長が参加しました。

東村山市長（渡部市長）と懇談を行いました。

サービス協力会と合同で拡充を要請

リフォーム助成

7月21日に東村山住宅サービス協力会から、白石副理事長、金澤理事、須賀事務局長が参加、東京土建から井上委員長、奥田書記次長が参加しました。

先ず東村山住宅サービス協力会から「住宅建築費補助制度（住宅リフォーム助成）」について懇談、昨年のコロナ不況緊急対策として、助成金の予算を増額し、地元の建設業者の振興政策を図って頂いたことへの感謝を伝え、引き続き予算の増額について要望しました。

渡部市長からは「急に助成制度を無くす話ではないが市はSDGs（持続可能な開発目標）を意識した政策を考える必要がある」との見解を示し、今後も地元業者とも意見交換を進める考えを示されました。

## 新型コロナ感染症手当金の期間延長について

新型コロナウイルス感染症への感染または感染が疑われる方が、仕事を休んだ時の収入を補償する「新型コロナウイルス感染症手当金」の対象期間が9月30日まで延長されました。



### 1. 手当金の支給要件

新型コロナウイルス感染症の療養等の為に仕事が出来なかった期間（連続する4日間以上）があること。

### 2. 支給金額

○給与所得の方

給与日額の3分の2×休んだ日数（待機3日除く）

○事業所得の方

3400~5000円×休んだ日数（待機3日間除く）

## 用水路

予定通りにオリンピックが始まりました。開催されただけで他のことは目を瞑つたのだから当然なのだろう。しかし、これが結果、どうなものか出てくるのかと開会式を見たが、20分を待たずして見るのをやめただ。ハイテク駆使の演出はわかるが、中途半端さが鼻につくのは私だけだろうか。ここに到るまでの数々の不祥事や不運事においても説明不足、責任不在。都民、いや国民の期待や楽しみを自分らの利益、名誉だのにすり替え、あげく国に命の危険さえ感じさせる尊大さ。今までに見たことのないような茶番劇をこの数年間見せられ続けてきたが、どうやらその千秋楽がここらしい。国費を使ってまで緊急事態宣言下というありえない状態の国際的イベントに参加していただけた各国の関係者には感謝したいし、何よりアスリート達にはこれまでの努力の結果を遺憾なく発揮してもらいたいと思いつます。また、競技終了後、無事に帰国されることを心より切望します。

そして今後のオリンピックの在りかたを想像していただけませんか。（M）



オリジナルTシャツ作りに挑戦する小山青年部長（左）

**【小山 翔太郎 青年部長】** 感染防止を配慮し、約2年ぶりとなる青年部のイベントを開催しました。ズバリ「青年部オリジナルTシャツ作成ワークショップ」です。

後継者対策部の山内さん、三輪さんも参加して頂きました。（仕事の都合など人。計9人の参加がありました。）

（仕事の都合など）で参加者は少なめでした）

（各自好きな色味やデザインでTシャツ作りができますので、参加者からも非常に好評で、私自身もたくさんTシャツを作らせてもらいました！）

（協力頂いた「グレムリンズ」の方々も気さくな方達で、自分でTシャツを作る事がこんなに面白いとは思いませんでした。）

## 青年部 Tシャツ作成に挑戦



## 土建国保料の減免再び

コロナ禍における組合員の生活動再建を支援するため、東京土建国保の保険料減免が昨年に引き続き実施されます。

②保険料減免の期間  
減収率に応じて2ヶ月分となります。

③申請期間  
7月1日～11月17日まで

（1）対象となる方  
2021年の事業・給

（2）申請手手続きを行ってください。  
申請手手続きを行ってください。

（3）前回の国保料減免とは対象となる方の基準などが変更されたります。

（4）請基準を支部事務所に問い合わせて確認の上、申請手手続きを行ってください。

## あいさつから始まる結びつき

美園 分会

高橋 成允 通信員



コロナ禍でもオリンピックは開催されています。「ぼったくり男爵」と批判されたIOCのパッハ会長に挨拶する必要はないかも知れないが、ウチのオバサンは家の前を通り人誰にでも挨拶の言葉をかけています。



社会福祉法人の就労支援施設で働くA君は、帰りに乗るバスにコダワリがあって、目的のバスが来るので長時間、携帯をいじって何台やり過ごしても平気で待っている。障害があるA君は以前付近の人々に「他のバス停へ行って」と言われ、停留所を変えてウチの近くに乗るようになっています。

通学する小学生にも「おはよう気を付けてね」と声掛け、ちょっと姿をみると喜んでいます。

見ないと「あの子どうしたの」と心配している。先日、その子が家の前を通らなくなつたのは近づかだだとわかりました。シングルマザーの母娘で、会うと挨拶もできました。娘は、我が家に寄つたりした素直な良い娘で、「お母さんにも会いたいな」と電話では話しているようですが、それ以来そこでは多人数では遊ばなくなつたと付近の人々が話しています。「ダメなものはダメ」と声をかけるオバサンがいてもいいかもね。

コロナ禍で私も暇ができたので、道路沿いに苗木を入れて鉢植えでミニトマト、ナス、キュウリ等をユーチューブで見て方を勉強してかなり収穫したので興味のある子には取つてもいいよと子供たちに摘み取りさせようと思っています。

## 建退共の制度改定

2021年10月から、

建退共（建設業退職金共済）の証紙の金額が310円から320円（1日分）に10円引き上げられます。

それにより、毎月組合費と一緒に建退共の払い込みを行っている方は10月の組合費納入分から一人当たり、7750円から8000円へと、250円金額が上がる所以です。



1日券が320円に引き上げ

※計算の例

2021年1～6月の収入の合計額が300万円の場合、300万円×2=600万円を2021年の年収とみなして、2020年又は2019年の収入と比べます。

また、同じく10月から建退共の運用利回りが3.0%から1.3%へ引き下げられます。ご不明な点など、ございましたらお問合せ下さい。

## 簡単アンケート



○解答すると抽選で金券が当たる!  
○対象は54歳以下の組合員の方です

解答はこちらのQRコードから⇒

